

おだわらを拓く力
ニュースレター
Powers!

一步一步「新しい小田原」へ

みんなで街へ出よう! 話そう! 創ろう!



市長インタビュー

「市民が主役の小田原」は進んでいるの?!

各地域におけるまちづくりやケアタウン、スクールコミュニティ、環境再生や再生可能エネルギーなど、いろいろな分野で市民が活動の最前線を担ってくれるなど「市民が主役の小田原」は着実に根付きつつあります。

市民の参画と協働を支える骨格として、総合計画「おだわらTR Yプラン」と「小田原市自治基本条例」の両輪が定着してきました。パブリックコメント(意見公募)に関する条例も策定、市政運営に市民からの意見を反映させる手続もできています。

市民が提案して行政が支える、その具体的な事例は?!

「生ごみ堆肥化事業」「ウォーキングタウン」「環境シフト」「ものづくりアート」などの活動更には福島県相馬地方への被災地支援活動など、市民が先行し行政が支える形の事業が行われてきました。

26年度からは、市民から提案された事業案に市民と行政が協働で取り組み、なおかつ予算も付けるという「市民提案型協働事業」を実施します。今年度は、学校や幼稚園でのグランド芝生化、障がい者を地域で支える活動、プレイパークの実施、市民による観光ガイドの拡充など、6つの事業が始まります。

これから、どんな方法で進めていくの?!

市民参画による計画づくりや、パブリックコメントを定着させるほか、「市民提案型協働事業」での成果をその後の市政運営に仕組みとして取り込んでいきます。

市民活動の面では、小田原駅東口の再開発事業で整備される仮称市民活動交流センターが27年度にスタートすることにより、これまで以上に市民活動の充実が期待されます。各連合自治会では、地域別計画の実現に向け27年度を目標に「地域まちづくり組織」が順次立ち上がり、地域単位での市民自治がいよいよ本格化していきます。



「おだわら子ども防災」のメンバーと



小田原映画祭シネマトピア2013レセプションにて



エコ+オーガニック・おひさまマルシェの会場で

